



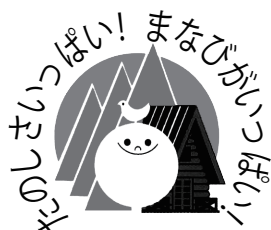
〒745-0511

周南市大字中須北3194番地

周南市大田原自然の家

TEL(兼)0834-89-0461

Eメール ootabara@ccsnet.ne.jp



- 自然の家主催事業のご案内
- 大田原自然の家キャンプカウンセラーグループ「キューピーズ」の取り組み
- 「おおたばら学びの里プラン」
- 月曜日が休所日となります。



目指せ! ステキなお兄さん、お姉さん

平成29年3月18日～19日実施

キューピーズに入りたい!と希望する新中学生と、すでに活動している中高生が、キャンプの技術や知識を高め、キューピーズとしての心構えを学ぶための「ステップアップキャンプ」を開催しました。

一日目は、初めて会う子ども達の緊張をほぐすゲームや、野外炊事でより安全に活動するための方法などを学び、星空の下、火を囲み、じっくり話し合う中で、お互いの絆を深めました。

二日目は、参加者との違いについて考え、自分達が楽しく活動するだけでなく、活動中の危険予知や人間関係作りにも気を配らないといけないことを学びました。

このキャンプを通して、キューピーズとして目指す姿が見えてきたようです。

新キューピーズのデビューは「春のわんぱく村」です。みなさんと出会えることを楽しみにしています。

参加者から 伝える側へ ステップアップ!

子ども達に伝わりやすいように、説明を何度も練習しました。

自然の家のキャンプカウンセラーグループ「キューピーズ」は、二十六年目を迎えます。今活躍しているメンバーと新メンバーの想いを聞いてみました。



お兄さんお姉さん役として活躍しています。

憧れの存在

自分が参加者だった頃のキューピーズの印象はと聞くと、「すっごく身近な存在!いつも優しく、あんまり年が変わらないのかっこよかった。」「とても

輝かしい人に見えました。そんな風になりたい。」と、答えてくれました。そんな「キューピーズ」を目指して積極的にキャンプに参加するメンバーも多くなります。そして、キューピーズの活動で学んだことについては、「自分でできることをやる。丁寧に細かく物事を考えるようになった。」「自分が全部言って引っぱるの



「冬のわんぱく村」の企画会議
良いものになるように、みんな真剣です。

が、私のリーダーとしてのやり方だったのですが、キューピーズに入って、他人の意見を聞いたりすることが得意になりました。」と、自分の中の変化に気づき、それをさらに伸ばしていきたいと張り切っているようです。

また、キャンプで共に活動する大学生ボランティアの姿が、彼らの成長を促す一つの要素となっています。

自然体験活動を通じて、青少年の健全育成の役割を担う自然の家では、参加者と年齢が近く、ちょうどいい距離でサポートができる「キューピーズ」を積極的に育成しています。

キャンプに来る子ども達に将来、自分達もお兄さんお姉さんとしてかわりたいたいと思ってもらえるような活躍を期待しています。

主催事業に参加していた子ども達が、中学生になっても自然の家と関わりを持ちたいという願いを受けて、「キューピーズ」は、産声をあげました。以来、子ども達がキャンプで、より良い体験や効果が得られるようにと、自分たちも研修をしながら、子ども達のよき

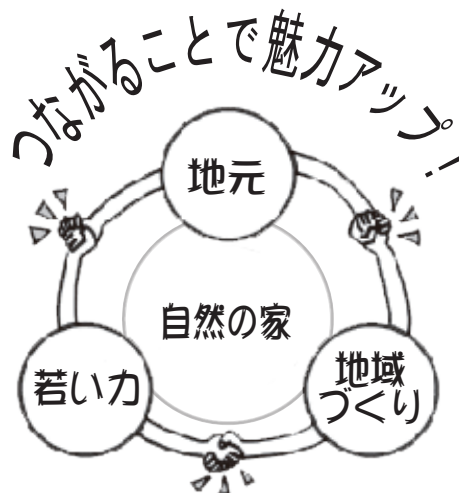


大きく育てと願いを込めて
あじさいの植え付け

「棚田の魅力もりもりキャンプ」
自然の家では、中須の棚田の景観を守るために活動をされている「棚田清流の会」のご協力を得て、中山

間の自然の中で、もりもり「働き」「ふれあい」「食べる」をキーワードに、民泊体験を取り入れたキャンプを、昨年秋に実施しました。

子ども達は、棚田での農作業、地元食材の調理、地元の方々の語り、民泊体験でふれあうことのあたたかさやありがたさを感じることができました。この事業が、街と中山間



おおたばら学びの里



稲刈りが終わったー! おつかれさま!

普段、自然の家のキャンプなどのボランティアをしている大学生たちが、この企画のために前日から泊まり込んで、地元の方々と準備をしました。当日も子ども達と一緒に稲刈りなどの作業に汗を流しながら、地元の方々の橋渡し役として、若い力で頑張ってくれました。

地域をつなぐものとなり、自然の家が中山間地域の活性化に貢献できるモデルケースとなりました。

「あじさいロード」

十二月、大田原地区を訪れる方々に少しでも来てよかったと思ってもらえるように、地区の方々と一緒に、自然の家周辺の道沿いに日本のあじさいを植えました。小さな苗が、大きく育つてきれいなあじさいの花が大田原地区を彩るのが目に浮かびます。自然の家は、これから「つながり」を大切にする施設を目指します。